



三島由紀夫の純愛小説「潮騒」の舞台を巡る

とうみょうやま

灯明山 171m

- 距離：約4km（遊歩道1周）
- 歩行時間：約2時間（遊歩道1周）



(アサギマダラ)



※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

神島は、三島由紀夫の小説『潮騒』の舞台となった島。

山を一周する遊歩道沿いには「神島灯台」や「監的哨跡」（旧海軍施設跡。大砲試射弾を監視したところ）などの見どころや、映画「潮騒」の撮影が行われたポイントが点在する。

9～10月には、アサギマダラ（チョウ）、サシバ（鳥）の渡りが見られる。

山の東斜面一帯は「東山」と呼ばれ、東北の渥美半島を隔てた彼方に富士山を見ることがあり、約100年前に浅間神社が祭祀されたことから「鳥羽の富士山」ともいわれる。

*登山道：

- ・灯明山を中心に周遊できる遊歩道が整備されており、一本道となっている。道標あり。
- ・遊歩道から階段を上がって灯明山山頂に行くことができる。
- ・ウォーキングマップは、鳥羽市観光情報サイトよりダウンロード可能。

*登山口までのアクセス：

- ・神島港から徒歩5分。集落を抜けて遊歩道へ。

*周辺情報：

- ・定期船乗り場周辺に売店、自販機、公衆トイレ3カ所あり。
- ・島内には旅館、民宿が3軒あり。
- ・ガイドあり（要予約、一部有料）。詳細は、鳥羽市歴史文化ガイドボランティアセンター（0599-25-2844）にお問い合わせください。

■島のプロフィール

急潮・伊良湖水道にあり海産物豊富な島。三島由紀夫著『潮騒』の舞台。サシバやアサギマダラの渡りの中継地。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。